

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)



事業所による自己評価の令和6年度の結果を公表します。
自己評価結果や保護者等アンケート結果をもとに支援の資質向上に努めていきます。
これからも運動&学習療育あなたが宝モノ泉佐野教室をどうぞよろしくお願いいたします。

公表: 令和 7年 4月 1日

事業所名 運動&学習療育あなたが宝モノ 泉佐野教室

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|--|------|-----|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 100% | 0% | 法令遵守に努めています。日々、利用人数・療育内容やプログラムごとにパーティションで区切るなど、スペースの確保を工夫しております。 | |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 100% | 0% | 法令を遵守しております。また、法令の配置数に加えて、常勤換算で児童指導員等を1名以上配置し、より行き届いた対応をすることを心がけています。 | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 100% | 0% | 療育室内はバリアフリー化に配慮しております。 | 教室の立地が3階になります。現状では、エレベーターの設置は難しい為、補助が必要な場合は、スタッフが対応いたします。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 100% | 0% | 毎日の清掃を徹底しております。また、感染症対策については、消毒・検温・換気・スタッフのマスクの着用を徹底し、安心してご利用いただけるよう運営しております。 | |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 100% | 0% | 落ち着かない時には静養室で過ごす等、少しでも安心して過ごせるようにしてまいります。 | |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 100% | 0% | 主に個別支援計画の作成に当たり、PDCAサイクルに則って職員が参画しております。また朝礼時に打ち合わせを行い、日々の振り返りも行っております。 | |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 80% | 20% | | 今後も定期的にアンケート調査を実施し、より良い評価をいただけるよう、業務改善に繋げていくよう努めます。 |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100% | 0% | 朝礼時や振り返りの際に意見交換を行うことで、職員の意見を把握し業務改善に努めております。 | |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 80% | 20% | | 常時コンサルティング会社や顧問弁護士、他第三者の方に評価とアドバイスを頂き、改善に努めています |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 100% | 0% | 毎月、職員の療育への意識向上・一貫性のある療育提供に向け、日課プログラムの研修・模擬授業を行っております。 | |
| 適切 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 100% | 0% | HPで公開しております。 | |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 100% | 0% | 日々、聞き取りや情報共有、定期的なアセスメントに基づいて、ニーズや困り感を客観的に分析して、放課後等デイサービス支援計画を立案し、療育に繋げています。 | |
| | 13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 100% | 0% | 計画作成時の担当者会議だけでなく、日々の振り返りや共有を通して子どもの支援に関わる職員が子どもの最善の利益を考慮した検討に努めております。 | |
| | 14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 100% | 0% | 放課後等デイサービス支援計画に沿って、個々の課題にとって必要だと考えられる支援を行っております。 | |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 100% | 0% | 事業所で使用しているプログラムの共有欄や振り返りシートを用いて現状把握に努めております。 | |
| | 16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的 | 100% | 0% | 法令を遵守し、保護者様からのアセスメントをもとに目標を設定させていただいております。不明点や変更のご要望がありましたら修正・対応いたします。 | |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 100% | 0% | ご利用者様の支援計画に基づき、全スタッフで現状を共有したうえで、日々の活動プログラムを立案しています。 | |

| | | | | | | |
|--|----|--|------|-----|---|---|
| かな 支援 の 提供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 100% | 0% | 月ごとのテーマを設定した年間スケジュールに沿って、プログラムを実施しています。またスタッフ間で情報共有をしながら、療育内容に細やかな変化を加えています。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 100% | 0% | 平日と土曜日ではコース設定が異なる為、それぞれのコースに合わせて時間割・課題を設定しています。長期休暇期間は、それぞれのコースに合わせて、時間割を設定しております。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 100% | 0% | 日々の活動プログラム・内容に応じて、担当を配置し、支援内容を確認し合います。支援計画に沿ってその日の目標の設定も行っております。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 80% | 20% | 日々、その日の利用者様の状況、保護者様からの情報、振り返りや気づきを共有し、次回へ引き継がれる療育内容を認識し合っています。 | 当日中に実施できない場合には翌日に行い、振り返りや保護者様からの情報を共有してまいります。また抜け漏れがないよう振り返りシートを用いて、確認し合うようにしてまいります。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 100% | 0% | その日の担当者、療育内容や気づき、次回への引継ぎ等、日報に記録することを徹底し、より良い療育の提供に繋げています。 | |
| | 23 | 定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 100% | 0% | 放課後等デイサービス計画に基づき、定期的にもモニタリングを実施し、ニーズ・課題の見直しの必要性を日々の日報を通して判断しています。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 100% | 0% | ガイドラインの総則の基本活動を複数、柔軟に組み合わせ支援を行っております。 | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 100% | 0% | その日のこどもだちの様子を観察し、一緒に考える時間や自分で決められるような機会を設けており、自己決定できる力を育てています。 | |
| 関係 機関 や 保護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 100% | 0% | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、児童発達管理責任者もしくは日々の療育を主に担当するものが参画しています。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 100% | 0% | 保護者様を通じて、関係機関からの情報を共有していただき、療育内容に反映しております。 | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 100% | 0% | 主には保護者様を通じての連絡調整となりますが、学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、お子様の下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)をご協力いただき、適切に行っております。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 100% | 0% | 保護者様や相談支援事業所の担当者様を通じて、情報共有をさせていただいております。 | 担当者会議で機会を得られていましたが、今後はできる限り、こちらからも就学前に利用されていた施設へ情報共有・相互理解できるよう働きかけていきます。今後さらに支援内容やご利用者様の様子・療育の成果をお伝えするようにつなげてまいります。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 100% | 0% | | まだ事例はありませんが、今後移される場合、継続した支援ができるよう、それまでの支援内容やご利用者様の様子、療育の成果の情報を提供する等の連携を取ります。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 100% | 0% | 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、療育の共有、助言をいただいております。 | 積極的に研修などに参加させていただき、連携してまいります。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 40% | 60% | | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会を設けてまいります。 |
| | 33 | (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。 | 100% | 0% | | (自立支援)協議会等の会議やイベントに参加できる機会がありましたら、積極的に参加します。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 100% | 0% | 送迎の際や、日々の連絡帳でのやり取り、電話・LINEなど、日ごろから個々の状況・状態を共有し合い、お子様の発達課題について、共通理解をもつようしております。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 80% | 20% | 相談希望の保護者様には積極的に支援を行っております。オンラインでの講演会なども実施し、ペアレント・トレーニングに繋がっていきます。 | 今後はペアレントトレーニング等の保護者支援ができる機会を積極的に企画してまいります。 |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 100% | 0% | ご契約前の療育説明会では、支援内容のご説明と日々のお子様の様子をヒアリングさせていただき、ご納得いただいた上、体験に進んでいただいております。ご契約時に、支援内容、利用者負担等を丁寧に説明しております。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 100% | 0% | ガイドラインのねらい及び支援内容と、それに基づいて作成した児童発達支援計画を提示し、保護者様に支援内容の説明を行い、同意を得ております。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 100% | 0% | 保護者様に児童発達支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様に同意を得ております。質問や変更のご希望がある場合は修正するようしております。 | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|------|---|--|---|
| 保護者への説明等 | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 100% | 0% | 保護者様から相談があった際には、随時、対応させていただきます。 | より相談しやすい環境づくりに努めてまいります。 |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 | 20% | 80% | | 今後は状況に合わせて、積極的に開催してまいります。 |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 100% | 0% | 相談苦情窓口を設け、周知しております。相談や申し入れがありましたら、迅速かつ適切に対応しております。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 100% | 0% | チラシや通信を毎月制作している | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 100% | 0% | 法令を遵守しております。個人情報は鍵付き書庫に保管し、資料・書面はシュレッダーにて破棄しています。 | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 100% | 0% | ご利用者様には障害特性を加味し、意思の疎通に配慮をしております。保護者様に対しても、電話やLINEや連絡帳など複数の方法で対応できるよう、配慮しております。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 60% | 40% | | 今後は状況に合わせて、開催してまいります。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 100% | 0% | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員、保護者様に周知しております。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 100% | 0% | 非常災害の発生に備え、毎月避難・救出・その他必要な訓練を行っております。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 100% | 0% | ご契約時にご記入いただいている事前調査票と面談をもとに、服薬や予防接種、てんかん発作の有無等を把握しております。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 100% | 0% | ご契約時にご記入いただいている事前調査票と面談をもとに、アレルギーの有無を把握し、食物アレルギーのあるご利用者様については、家庭や医師と連携し、対応しております。 | 現在、医療的ケアが必要なご利用者様はいらっしゃいません。ご利用の際には連携できるよう、準備を進めます。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 100% | 0% | 安全計画を策定し、スタッフ間で共有、改善を行えるよう徹底しており、安全管理が十分された環境で支援が行えるようになっております。 | |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 100% | 0% | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 100% | 0% | ヒヤリハット事例集を作成して共有し、事故防止に努め、学びとしております。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 100% | 0% | 虐待防止委員会を設置し、委員会で話し合われたことは全スタッフに周知しております。また虐待を防止するため、研修に参加したり、研修での学びを共有し、適切な対応をしています。 | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 100% | 0% | 現状、該当するご利用者様はいませんが、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様・保護者様に事前に十分に説明し、了承を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載する仕組みはできています。 | | |